

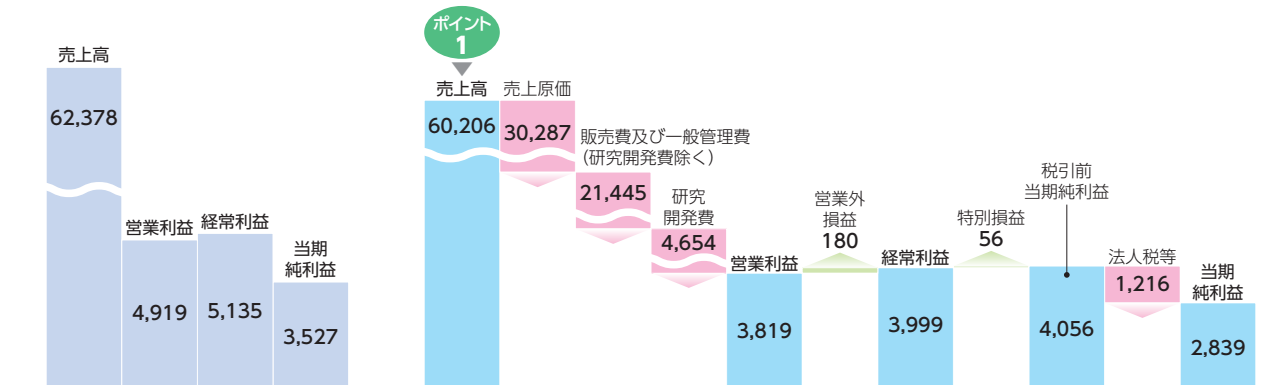
財務諸表の概要

損益計算書の概要

(単位：百万円)

前事業年度
2015年1月1日～2015年12月31日

当事業年度
2016年1月1日～2016年12月31日



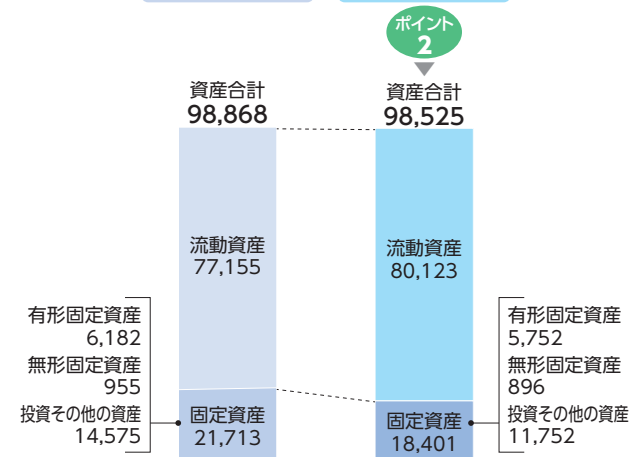
貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部

前事業年度末
2015年12月31日現在

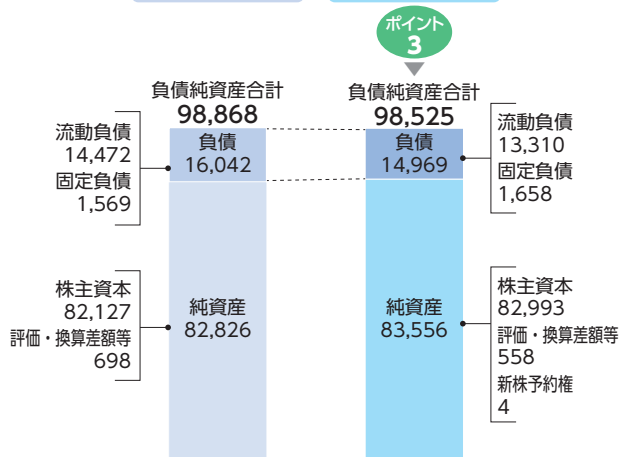
当事業年度末
2016年12月31日現在



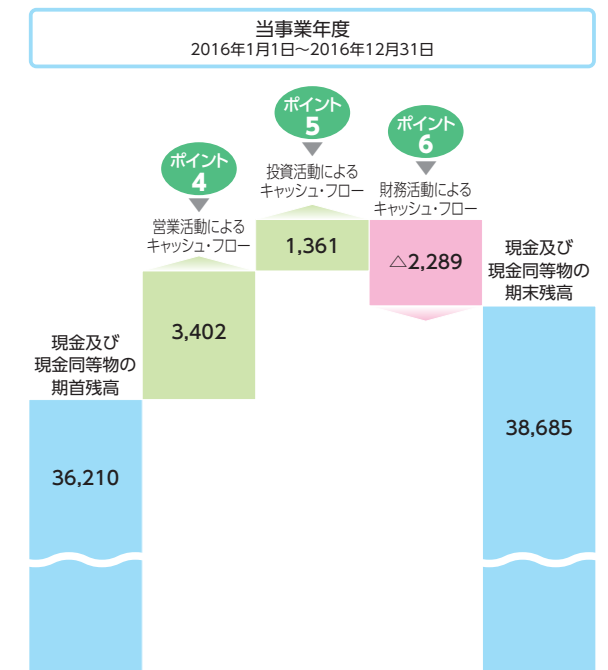
負債・純資産の部

前事業年度末
2015年12月31日現在

当事業年度末
2016年12月31日現在



キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



ポイント1 売上高の状況

売上高は、2016年4月に実施された薬価改定において、通常の薬価引き下げのほか、「レミッチカプセル」及び「リオナ錠」が市場拡大再算定の対象品目となったこと等により、60,206百万円と前事業年度に比べ2,171百万円(3.5%)の減少となりました。(2016年度業績に関する詳細はP.2「2016年度の業績」をご覧ください。)

ポイント2 資産の状況

当事業年度末の総資産は、98,525百万円と前事業年度末に比べ343百万円(0.3%)減少しました。流動資産につきましては、有価証券が7,606百万円、売掛金が1,344百万円減少しましたが、現金及び預金が8,031百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,743百万円増加したこと等により80,123百万円と前事業年度末に比べ2,968百万円(3.8%)増加しました。固定資産につきましては、投資有価証券が2,923百万円減少したこと等により、18,401百万円と前事業年度末に比べ3,311百万円(15.3%)減少しました。

ポイント3 負債及び純資産の状況

負債につきましては、14,969百万円と前事業年度末に比べ1,073百万円(6.7%)減少しました。これは、未払法人税等が1,148百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、83,556百万円と前事業年度末に比べ729百万円(0.9%)増加しました。これは、自己株式の取得が615百万円、剰余金の配当が1,358百万円ありましたが、当期純利益が2,839百万円となったこと等によるものです。

ポイント4 営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益が4,056百万円、減価償却費が1,339百万円、売上債権の減少額が1,344百万円となり、たな卸資産の増加額が770百万円、法人税等の支払額が2,500百万円となったこと等により3,402百万円の収入となりました。(前事業年度は4,940百万円の収入)

ポイント5 投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が2,203百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が1,414百万円となり、投資有価証券の取得による支出が1,611百万円、有形固定資産の取得による支出が500百万円となったこと等により1,361百万円の収入となりました。(前事業年度は957百万円の収入)

ポイント6 財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が1,358百万円、自己株式の取得による支出が615百万円となったこと等により2,289百万円の支出となりました。(前事業年度は1,582百万円の支出)